

東北・福島+埼玉=福の玉、が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますよ〜...。

3月  
& 4月

# 福玉便り

ふくたまだより

通巻 119 号

発行：『福玉便り』編集委員会 NPO 法人埼玉広域避難者支援センター・(一社) 埼玉県労働者福祉協議会

協力：生活協同組合コープみらい埼玉県本部

連絡先：NPO 法人埼玉広域避難者支援センター〒 330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館 1F TEL0120-60-7722

## 東日本大震災追悼式 黙祷の会 いつかまたどこかで

日付：2026 年 3 月 11 日 (水)

場所：上尾市 シラコバト団地 第一集会室 (24 号棟)  
(住所：上尾市大字上 370 番地)

時間：14:15 受付開始 式辞

14:46 黙祷 記念事業（タイムカプセル開封）挨拶

主催：東日本大震災に咲く会 ひまわり

問い合わせ：橘（タチバナ）080-3091-6215

協力：つなげよう花の心実行委員会／『福玉便り』編集部／シラコバト団地自治会／極アート



私の故郷、福島は、原発事故による放射能に汚染されてしまいました。現在も人が住めない地域があります。そんな福島にも今年も春は来て暖かい日がさし、雪が溶け、長い冬が終わります。この絵は、そんな早春の美しい福島市飯野町の風景を描いたものです。この景色を描いたのは、2011 年の 2 月でした。まさかその 1 ヶ月後に東日本大震災及び原発事故が発生し私達の運命が変わる等思いもよらない程、福島の山並みや雲間から暖かい日が差し美しい田園風景が眼下に広がりました。この絵を見て少しでも郷愁を感じて頂ければとても幸いです。

オオハシワタル

## 埼玉県内の避難者数について

『福玉便り』編集部では2013年以来、毎年1月に埼玉県内の市町村を対象とした避難者数調査を実施してきました。当初は埼玉県庁の発表数と大きなずれがあり、独自の避難者数調査が必要となつたという経緯がありました。その後、埼玉県庁発表数と『福音便り』編集部調査でほぼ同じ数字となつたため、2025年から独自調査を見送っています。

埼玉県ホームページで公開されている最新の避難者数を見てみると、2025年1月1日現在で2,154人。避難元の県および避難先の市町村ごとの内訳は、表の通りです。ただし、この人数は復興庁の方針の影響を受けています。たしかに、各市町村が集計したものが各市町村ごとの内訳になりますが、そもそもこの定義が曖昧である可能性には留意する

必要があります。過去の調査結果と比較すると、グラフの通り2013年から避難者数が激減を続けていますが、急激な減少も見られないことがあります。様々な事情もわかります。様々な事情を背負って、埼玉県で避難生活が長期化している方々が多くいらっしゃることを、今回も改めて確認したいと思います。（編集部・原田）

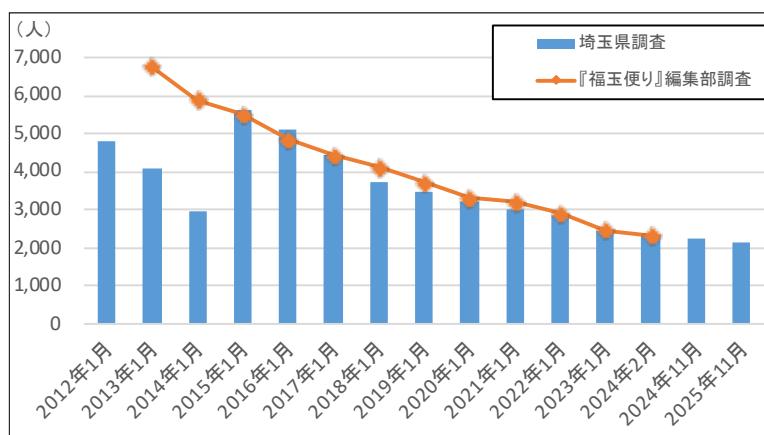
表1. 避難先の市町村別内訳

所在市町村	施設別			合計	
	A 公的主体 が管理す る住宅 ※1	B 民間賃貸 住宅	C 親戚・知 人宅等		
さいたま市	8	8	155	0	171
川越市	0	25	69	0	94
熊谷市	2	3	34	0	39
川口市	0	134	0	0	134
行田市	0	5	10	0	15
秩父市	0	9	26	0	35
所沢市	0	24	41	0	65
飯能市	0	2	4	0	6
加須市	1	41	334	3	379
本庄市	0	1	0	0	1
東松山市	0	0	1	0	1
春日部市	0	0	136	0	136
狭山市	0	21	32	1	54
羽生市	5	2	27	0	34
鴻巣市	0	2	55	0	57
深谷市	0	3	15	1	19
上尾市	16	15	49	0	80
草加市	2	24	44	0	70
越谷市	8	49	81	1	139
蕨市	0	6	0	0	6
戸田市	0	0	30	0	30
入間市	0	0	47	0	47
朝霞市	0	0	30	0	30
志木市	0	8	16	0	24
和光市	0	9	0	1	10
新座市	2	0	14	0	16
桶川市	0	22	0	0	22
久喜市	2	0	73	0	75
北本市	0	7	8	0	15
八潮市	0	13	31	0	44
富士見市	0	6	7	0	13
三郷市	0	20	20	0	40
蓮田市	0	11	9	0	20
坂戸市	4	9	7	0	20
鶴ヶ島市	4	0	30	0	34
日高市	0	0	8	0	8
吉川市	0	3	18	1	22
ふじみ野市	0	2	48	0	50
白岡市	0	2	1	0	3
伊奈町	0	2	0	0	2
三芳町	0	1	1	1	3
毛呂山町	1	3	14	0	18
越生町	0	0	1	0	1
滑川町	0	0	3	0	3
嵐山町	0	1	5	0	6
小川町	2	0	0	0	2
川島町	0	2	5	1	8
吉見町	0	1	3	0	4
鳩山町	0	0	9	0	9
ときがわ町	0	0	4	0	4
上里町	0	0	0	1	1
寄居町	0	8	0	0	8
宮代町	0	1	0	1	2
杉戸町	3	0	17	0	20
松伏町	0	0	5	0	5
合計(55市町村)	60	505	1,577	12	2,154

表2. 避難元の県別内訳

岩手県	宮城県	福島県	その他	合計
46	29	2,058	21	2,154

図. 埼玉県内の避難者数の推移



※1 公的主体が管理する住宅とは、県営住宅、市町村営住宅、公務員住宅、雇用促進住宅、UR住宅などの住宅、社宅

## あれから15年

### 東日本大震災を振り返って

さいがい・つながりカフェ

代表 村上秀雄

欄間の所に先祖代々の遺影が並んでいる。遺影は、黒土で描いた遺影、白黒の写真の遺影、カラー写真の遺影と変わりゆく家計の歴史を見て成長した。

常磐線双葉郡地方は明治31年のころ、兵隊さん運搬目的で作られたそうで、その頃祖先は遠方より新生活を求め、二足三文の原野を手作業で開墾し、先祖代々、苦労に苦労を重ねながら、子供に受け継ぎ、本家・分家と言われるまでに土地を広め、近隣とも絆を深め「原発は安全なエネルギー」という神話に惑わされつも、平穏な生活を営んでいた。永い永い年月を得て造り上げた幸せな生活であった。

2011年、平成23年、3月11日14時48分、古里

は震度6強の地震、高さ10メートルの津波で13名の方々が波に呑まれ、百以上の家が倒壊する未曾有のことが起きてしまった。着の身着のまま避難所に逃げ、早く帰宅できるものと思っていたが、原発事故を知り行政の指導で早朝遠方の避難所へ、県外からの物資が来ず過酷な生活であった。

第一原発一号機、三号機、四号機と水素爆発が続き、耐えかねて見えぬ放射能の怖さに怯え、大宮に来てしまった。祖先から受け継いだ土地、家を離れ、親しんだ品々を捨て、兄弟、友人、知人とも離れ離れ、別々の生活をするようになってしまった。

福島県だけの災害死者は、直接死より希望を失い自ら命を絶つた人など連死の方が多く、「相談できる場があつたなら・・・」と想いつつ、災害時は一人では生きられずみんなで支えあつて生きなければならなか品々を捨て、兄弟、友人、いと感じております。今だに廃棄物の処理が出来ていないなか国は原発を推進しています。

古里は復興に向かつて進んでいますが、災害前の風景には戻らず悲しい想いもいたします。福島県だけの災害死者は、直接死より希望を失い自ら命を絶つた人など連死の方が多く、「相談できる場があつたなら・・・」と想いつつ、災害時は一人では生きられずみんなで支えあつて生きなければならなか品々を捨て、兄弟、友人、いと感じております。今だに廃棄物の処理が出来ていないなか国は原発を推進しています。

眠れない日が続いているとき 気にかかることがあるとき 困っていることがあるとき  
理由ははっきりしないけれど、誰かに話を聞いてもらいたいとき  
いつでも気軽にお電話ください。



福玉相談センター 電話：0120-60-7722 (フリーダイヤル)

火曜日・水曜日・木曜日(9:30~16:30)

電話で相談しづらい方はメールでもどうぞ。メール:fukushima\_soudan@yahoo.co.jp

センター事務所の移転に伴い、4月から電話番号が変更となります。新しい番号は決まり次第ご案内いたしますので、3月末まではこれまで通り現在の電話番号をご利用ください。なお、もし現在の電話番号が繋がらなかった場合は、080-4331-0290まで、ご連絡ください。

# 各地の 交流会など

『福玉便り』では2012年3月の創刊以来、埼玉県内各地の交流会情報をカレンダー・マップで紹介してきました。東日本大震災・福島原発事故から15年を迎えるにあたり、2つの団体の皆さんからメッセージと写真をお寄せいただきました。3・4月の交流会情報とあわせて掲載します。読者の皆様もぜひメッセージをお寄せください。

①	加須市	<b>双葉町民によるボランティアカフェ</b>	090-5356-8778 (鵜沼さん)
⑥	加須市	<b>オバトン</b>	090-6526-8560 (藤井さん)
⑧	上尾市	<b>東日本大震災に咲く会ひまわり</b>	080-3091-6215 (橘さん)
⑩	熊谷市	<b>くまがや結の会</b>	090-7661-9236 (林崎さん)
⑯	川口市	<b>ひまわりの会</b>	080-5431-0123 (島田さん)
⑯	さいたま市	<b>さいがい・つながりカフェ</b>	080-5532-7380 tunagari.saitama@gmail.com
㉗	ふじみ野市	<b>おあがんなんしょ交流会</b>	090-5345-8408 (松館さん)
㉘	川越市	<b>ここカフェ@川越</b>	070-5080-4494 (鈴木さん)
㉙	さいたま市	<b>玉兎の会</b>	090-6128-1948 (小林さん) <a href="https://gyokutonokai.wixsite.com/2018">https://gyokutonokai.wixsite.com/2018</a>

## ⑯さいがい・つながりカフェ

毎年元旦に今年も始まったなあ～と思っているうちに春になり夏をむかえ半年が過ぎる。何も変わらず秋になり後3ヶ月かあ～等思っているうちに12月。年の瀬をむかえ何をしたのかわからないまま1年が終わってしまう。私はこの1年何をしたのだろう？振り返るも何も思い浮かばない。来年は何かに挑戦したいが日々の生活に追われて過ごしてしまいそうです。でも、楽しみは持ちたいですね。カフェの仲間に会うのは楽しみのひとつ。張り合いというか頑張ろうと思う心の力をもらえる有難い場所です。皆様に笑顔で会えますように 無理をしないでご自愛ください。(代表 渡部まゆみさん)  
※共同代表の村上秀雄さんのメッセージは、3ページに掲載しています。  
3/12(木)、3/26(木)、4/9(木)、4/23(木)  
11:00～15:00 WithYou さいたま4階  
080-5532-7380、tunagari.saitama@gmail.com



## ⑥オバトン

あれから15年。毎年行われている旧騎西高校での祈りの日に、昨年はメンバーも参加させて頂きました。双葉町の方の私達への気遣いに心苦しいこともありましたが、町民の方からこの日を忘れないでありがとうございましたとの言葉を複数いただきました。私達こそ感謝です。



この食事・交流会を始めてこの夏で12年になりましたが、双葉町の方に励まされながら継続できていると思います。「やっと当時のことが話せるようになった、伝えなければ」との声にはいろいろ考えさせられます。メンバーからは、「まだまだ15年はそんな遠い前のことではない」「震災を知らない子どもや孫にどのように話していくかわからない」「この交流会のことを近隣の方、知人に伝えることで、一助になっているのでは」などの話がありました。双葉の方がこの一年声をかけて、数人の方が初参加されました。これからも細々と継続していきたいと思います。

3/10(火)、3/26(木)、4/14(火)、4/23(木)  
10:00～14:00

これまで通り、塗り絵教室、木曜日のハーモニカ、手話歌を行います。キャッスルきさい  
090-6526-8560 (藤井さん)

東京電力 福島第一原子力発電所事故 原子力損害賠償・廃炉等支援機構

## 原子力損害賠償に関する個別相談会・請求書作成支援

開催日 令和8年3月7日(土) 10:00～16:00 [休憩 12:00～13:00]

会場 『東京交通会館』地下2階 第二会議室A

・JR『有楽町駅』より徒歩1分・東京メトロ『有楽町駅』より徒歩1分、『銀座一丁目駅』より徒歩1分  
※有料駐車場はございますが、公共交通機関をご利用ください。

### ● 弁護士による個別相談（予約優先※）

- 原発賠償に詳しい弁護士が原子力損害賠償全般のご相談に対応いたします。
- 賠償請求でお困りの方は、ぜひご相談ください。

### ● 行政書士による請求書作成支援（予約優先※）

- 第五次追補等に関わる請求書の作成をお手伝いいたします。
- 請求書の記入はご自身でお願いします。

※1組1時間。当日、相談枠に空きがあれば予約なしでもご相談・作成支援ができますので、15時までに直接会場へお越しください。

### ● 専門家へご相談ください。

- ・請求漏れがないか相談したい
- ・住居確保にかかる費用の賠償請求について相談したい
- ・ADRの申立てについて相談したい など

### ● 連絡先

- 事前予約  
予約ダイヤル 0120-330-540  
【受付時間】9:30～17:00 月～金（祝休日、12/27～1/4を除く）  
□ ご来場が難しい場合は、電話相談をぜひご利用ください!  
電話相談ダイヤル 0120-013-814  
【対応時間】10:00～13:00、14:00～17:00 月～金（祝休日、12/27～1/4を除く）
- ・行政書士による電話での情報提供
- ・弁護士による電話相談：【事前予約制】祝日を除く毎週火・木 10:00～13:00
- ・オンラインでのご相談も可能